

「政府投資が生み出した成果の調査」プロジェクトの結果について

科学技術政策研究所(所長 和田 智明)では、第3期科学技術基本計画のフォローアップの一環として、12 のプロジェクトで構成される調査研究を内閣府総合科学技術会議の付託により実施いたしました。

本調査プロジェクトは、このうち「政府投資が生み出した成果の調査」に該当するもので、最近の科学技術成果にはどのようなものがあるのか、それら成果が進展し、社会に貢献をもたらす過程において、政府はどのような支援をしてきたのか、という点について、科学技術にご関心のある国民の皆様にも分かりやすい形で情報発信することを目的として実施いたしました。調査報告書がまとめられ、結果の一部を紹介する冊子も作成いたしましたので、お知らせします。

本調査プロジェクトは、「1. 大学・公的研究機関の多様な成果」と「2. インパクトの大きい成果事例とそれを後押しした政府支援」という二つの観点から最近の科学技術成果の調査を実施いたしました。それぞれの結果概要を、次頁に示します。

なお、個々の成果の意義や方向性を整理するために、第3期科学技術基本計画で定めた政策目標^(注)の枠組みを使って分類しました。

※ 本報告書につきましては、科学技術政策研究所ホームページ

(<http://www.nistep.go.jp/index-j.html>の「報告書」欄)に掲載されますので、そちらで入手することが可能です。

(お問い合わせ)

科学技術政策研究所 科学技術動向研究センター

担当： 藤本、武井

TEL: 03-3581-0605 FAX: 03-3503-3996

E-mail: fujimoto@nistep.go.jp

takei@nistep.go.jp

1. 大学・公的研究機関の多様な成果

政府の主な投資先である大学(国公立大学)・公的研究機関の最近(主に第2期科学技術基本計画開始(2001年)以降)の研究成果についてアンケート調査を行い、成果データベースとしてまとめました。189機関から寄せられた1052件もの成果には、以下の傾向が見られました。

成果の6割が社会還元の方向性を認識

研究成果の意義について質問したところ、第3期科学技術基本計画の大目標3～6^(注)に相当すると答えた回答が約62%でした。大学や公的研究機関において、社会での位置付けや活用先をある程度明確に意識した研究が6割程度実施されていると考えられます。

成果1052件の中から、重要性・今後のさらなる発展性などの観点で代表的成果として39事例を選定し、「大学・公的研究機関の多様な成果事例集」にまとめました。

2. インパクトの大きい成果事例とそれを後押しした政府支援

専門家へのアンケート調査をもとに、経済・社会・国民生活へのインパクトが大きい成果事例を、政策目標^(注)と対応付けて12事例選定しました。第一人者へのヒアリング調査などから、進展を後押しした政府支援として以下の傾向が見られました。

事例の進展には多様な支援による相乗効果が不可欠

一つの政策だけで成果が実現できた事例は存在せず、複数の多様な政府支援の相乗効果によって進展を後押ししています。「研究開発への資金投資」と「最先端の連携拠点の形成・活用・維持」は、12事例全体を通して有効な政府支援でした。

安全・医療の事例では「研究資金投資・社会制度策定・研究拠点形成」が有効

大目標5と6の事例では、「研究開発への資金投資」と「最先端の連携拠点の形成・活用・維持」に「社会制度の策定・整備」を組合せた政府支援が有効でした。中でも「社会制度の策定・整備」は成果実現の鍵であり、迅速かつ的確な支援が重要です。

低炭素社会・ユビキタス社会の事例では「戦略策定と国民への理解促進」が有効

大目標3と4の事例では、「将来戦略の立案・策定と国民への理解促進」が有効でした。多くの民間企業が研究開発しているこの分野で、将来社会の方向性・達成目標を政府が指し示すことは、今後は特に大きな推進力になるものと考えられます。

調査結果を、「政府投資が支えた近年の科学技術成果事例集」としてまとめました。

(注)

第3期科学技術基本計画の政策目標(一部抜粋)

- 理念1 人類の英知を生む …大目標1 飛躍知の発見・発明
- …大目標2 科学技術の限界突破
- 理念2 国力の源泉を創る …大目標3 環境と経済の両立
- …大目標4 イノベーター日本
- 理念3 健康と安全を守る …大目標5 生涯はつらつ生活
- …大目標6 安全が誇りとなる国

<参考>

第3期科学技術基本計画のフォローアップに係る調査研究(全体の12プロジェクト)

- PR1. 科学技術を巡る主要国等の政策動向分析
- PR2. 日本と主要国のインプット・アウトプット比較分析
- PR3. イノベーションの経済分析
- PR4. 内外研究者へのインタビュー調査
- PR5. 特定の研究組織に関する総合的ベンチマーキングのための調査
- PR6. 日本の大学に関するシステム分析
- PR7. 科学技術人材に関する調査
- PR8. 大学・大学院の教育に関する調査
- PR9. イノベーションシステムに関する調査
- PR10. 基本計画の達成状況評価のためのデータ収集調査
- PR11. 第4期基本計画で重視すべき科学技術に関する検討
- PR12. 政府投資が生み出した成果の調査**

注:「PR」は、Project の略